



想像力を育む

ようやく雪も峠を越し、春の兆しが見えてきました。2月の朝会では、「想像力」についてお話をしました。私は、学習やスポーツはもちろんのこと、学校で友達と仲良く過ごすためにも、「想像力」はとても重要な力だと思っています。自分の行動が、この後周りにどう影響するのか、心を痛める人はいないか、どのように伝えれば分かってもらえるか、想像を巡らせることで一番良いと思った方法を選択することもできます。コミュニケーションの根幹とも言えるこの「想像力」どうすれば育つのか。子どもたちには、「本を読む」「自然にふれる」「新しい体験」「芸術にふれる」この4つを伝えました。苦手なこともあると思いますが、自分の好きなことから派生させて、自分とは違った考えをもつ人、新しいものに興味をもつことが大切なのかなと思います。学校にはいろいろな友達や先生がいます。地域にも多くの経験をされた大人がたくさんいます。学校や地域には様々な体験をするチャンスもありますから、まずは人やもの、出来事に興味をもって受け入れて、豊かな心を育んでほしいです。

想像力があるといいことがたくさん！ ①発想が豊かになる 自分がうまくできるイメージを想像 工夫	想像力があるといいことがたくさん！ ②人のきもちがわかる こんな言い方をしたら きづくかも… 相手のきもちによりそい きもちよくすごせる	想像力がそだっていないと… 相手のきもちが わからない ・いじめ ・トラブル ・はんざい
想像力がそだつと… スムーズに計画 リスクをさける 先まわりして行動 大人になって仕事をするときにも大切な力！	想像力をつけるには… 自然にふれる 芸術にふれる 本をよむ 新しい体験	想像力 ともだちとなかよく べんきょう 大切な力！ スポーツ できることからはじめて育てよう！

5年生 JRCオンライン語り部 LIVE (1/29)

5年生は、東日本大震災の記憶と教訓を子どもたちに繋ぐため、語り部さんが生配信でお話してください「JRCオンライン語り部 LIVE」に参加しました。小学生の時に被災した語り部さんは、突然起こる災害がいかに非日常的に現実として受け入れがたいことだったかを話してくださいました。自分事として学び、備えておくことの大切さも教わりました。



3・4年生 そろばんの学習 (2/12~2/13)

珠算教育連盟福井支部から講師が来校してくださり、そろばんの学習をしました。計算機や表計算ソフトを使うようになり、キャッシュレス化も浸透し、計算する機会も減っている今、なぜそろばん?と思われるかもしれません。しかし、3・4年生で学習するそろばんは、十進法と位取りの原理にぴったりだと、今、その価値が見直されているという新聞記事も読んだことがあります。

学校には「10玉そろばん」という教具もあり、道具に触れながら数の感覚を身につけることはとても有効だと言われています。短い時間でしたが、パチパチと玉をはじく感覚も楽しみながら学習していました。

